

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度 筑後川低水管理運用検討業務
業 務 概 要	濁水調整の検証・検討 一式 補給指示シート及び低水管理手順書の更新 一式 低水管理システム改良検討 一式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所長 宮本 浩 福岡県久留米市高野1-2-2
契 約 年 月 日	令和 6 年 8 月 2 1 日
契 約 業 者 名	(株) 東京建設コンサルタント
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3
契 約 金 額	11,990,000円(税込み)
予 定 価 格	11,990,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	福岡県久留米市高野1丁目2番2号
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 8 月 2 2 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 3 月 1 4 日
備 考	

随意契約理由書

業 務 名 令和6年度 筑後川低水管理運用検討業務

推 薦 業 者 名 株式会社 東京建設コンサルタント

随意契約理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「筑後川流域における低水管理（湧水含む）時における運用上の留意点について」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。